

子どもの本だな 152

子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

ライオン

ウィリアム・ペーン・デューボア 文・絵
まさき るりこ 訳（瑞雲舎）

むかしむかし、空のずっと高いところに、白と銀に輝く宮殿「どうぶつ工房」があり、工房の104人の天使が思い思いに描いた動物が、地上に送り込まれていました。

ある日、フォアマンという天使が新しい動物を思いつきました。フォアマンは、白い紙に金色で大きく「ライオン」と書き、その名にふさわしい姿をありつたけの色のクレヨンで描きました。鳴き声は「ピープ、ピープ」にしました。フォアマンがほかの天使に絵を見せると、「小さい」と言われ、フォアマンはライオンの姿を大きく描き直しました。またべつの天使に見せると「はね」が、次の天使は「色」がおかしいと言い、フォアマンはその都度描き直しました。とうとう、百獣の王と認められる絵が完成したとき、フォアマンはライオンのようにほえました！

思いもよらない姿の「ライオン」が、次第にライオンらしくなっていく様子がユーモラスに描かれています。作者自身による挿絵も色鮮やかで、読んでもらえば5歳から楽しめます。

（秋澤）

図書館の本棚 479

疫病退散たべもの記 病除けの祈りと食のまじない

吉野 りり花 著 論創社（383.8）

長い歴史の中で、未知の疫病の流行に対峙する時、祈ることしかできなかった人々は、病が我が身に降りかからないように食に祈りを託した。本書では、著者が全国に足を運んで集めた疫病除け、病除けを祈る食の風習について紹介される。

京都の下鴨神社では、夏に御手洗祭（足つけ神事）が行われる。土用の丑の日に、御手洗池の清水に足をつけて、禊祓いをして罪穢れを祓い、疫病除けや病封じを祈る祭りで、平安時代に始まり、みたらし団子の起源になった祭りと言われる。下鴨神社の近くにあるみたらし団子発祥の茶屋では、1本の串に丸い団子が5個――一番先に大きめの団子が1つ、間が少しあいて、残り4つ――が刺してある。この形には、後醍醐天皇が御手洗池で水を掬った際に、泡が1つ、間をおいて4つ浮き上がった様子を見立てて作られたという説と、先頭の1つを頭、下の4つを手足に見立てた人間の5体とする説がある。祭りの神饌として団子を供え、祈禱を受けた後、家に持ち帰り醤油をつけて炙り、厄除けとして食べる。著者は、みたらし団子について、御手洗祭に禊を終えた証という意味合いがあったのではないかと考えており、実際に禊祓いと関連する団子は全国各地に伝わり、病が蔓延する夏季に、食されている。

冬の中風除けに大根やみかんが食されること、万病の薬とされた漬物、厄除けや無病息災の縁起物とされるあぶりもち…など、病から心身を守りたいという人々の祈りは、さまざまな形で食べ物に託された。昔から大切にされてきた食の風習が、現代でも受け継がれていることに気づかされ、感慨深い。

（盛岡）

・講師：片岡^{みのり}海里さん

・日時：11月8日(日) 10:30～13:30

※雨天の場合、11/22(日)に延期

・場所：太子町立図書館 読書会室と南側テラス

・対象：小学4年生～大人

・定員：15名(要申込・先着順)

・参加費：500円

・持ち物：ハサミ(植物を切ります)
安全ピン3つ
キッチン手袋
お弁当

・申込：太子町立図書館

10月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
				X	X	X
X	X	X	X	8	9	10
11	12	X	X	15	16	17
18	19	X	21	22	23	24
25	26	X	28	29	30	31

11月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	X	X	5	6	7
8	9	X	11	12	13	14
15	16	X	18	19	20	21
22	23	X	X	26	27	28
29	X					

▶ X印は休館日

- ・祝日の振替休館
10/14、11/4、11/25
- ・館内整理
11/30

※閉館時は返却ポストをご利用ください。

▶ 開館時間

10:00～18:00

※金曜日 10:00～20:00

10月	11月	10・11月の移動図書館(いずれも木曜日)				
8日	12日			福地(三反長) 地域内 14:30～14:50	米田 公会堂 15:00～15:20	竹広南 公民館 15:30～15:50
15日	19日			原池団地 公民館 15:00～15:20	山田 掲示板前 15:30～15:50	原 太田東地区 農村交流 センター 16:00～16:20
22日	26日	広坂 公民館 10:30～10:50	上太田 公民館 11:00～11:20	太子 ニュータウン 公民館 14:40～15:00	吉福 公民館 15:10～15:30	塚森 地域内 15:40～16:00

< お知らせ >

青空リサイクル～ひと箱市～

読まなくなった本を持ち寄って、古本市を開きます。個人提供なので、どんな本が集まるかお楽しみに!

- ・開催日：10月11日(日)
(雨天の場合、18日(日)に延期)
- ・時間：10:00～14:00
※本がなくなり次第終了
- ・場所：図書館南側テラス
※本はすべて無料です。
※本を出したい方は、事前申込が必要です。

地下水

最近、朝夕のニュース以外ほとんどテレビを見なくなった。連続ドラマの「また次回をお楽しみに」が、せっかちな性格のせいで苦手なのだ。例外は、NHKの朝ドラと大河ドラマである。歴史が好きなものもあるし、誰が主人公になるか、どんな時代が扱われるかによって、図書館で普段は手に取られることのない本の利用が増えるのが嬉しいからだ。過去には、牧野富太郎や小泉八雲、紫式部がモデルのドラマもあった。放送期間中、カウンターそばの特設コーナーに関連本を並べると、たくさんの人に本を手にとってもらえる。また、利用者とドラマの内容や史実との違いなどをあれやこれやと話すのも楽しい。10月から始まる朝ドラの主人公のモデルは、宇野千代。学生時代に歴史の教科書や文学史の中でしか知らなかった人物をもう一度学び直しているが、ドラマが進むにつれて紹介したい本もどんどん増えていくだろう。

特設コーナー「宇野千代とその時代の女流作家たち」にある展示物は、みなで知恵を合わせて作りました。どうぞ一度ご覧になってください。

(八木)